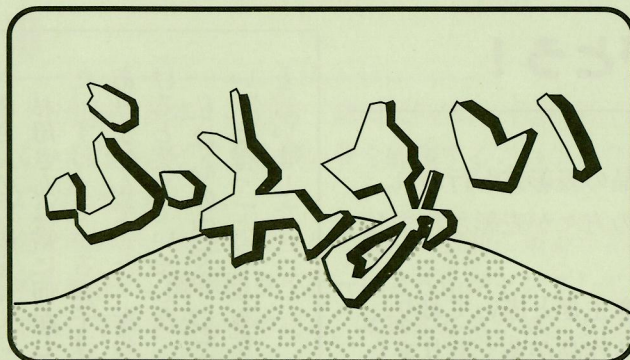


いろんな人と人とのつながり、
ふれあいを美浜のMと波で
イメージしました。



美浜町人権尊重啓発協議会会報

第58号

発行:平成28年2月23日
(年3回発行)

編集:人権協広報部会
連絡先:美浜町生涯学習課

TEL 32-1212

FAX 32-1222

E-mail:jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp

「歌の力 言葉の力」

人権週間(12/4~10)の意義を踏まえ、12月5日(土)に歌手・作曲家・俳優など幅広い分野で活躍されている「宇崎竜童」さんをお迎えし、「人権のつどい2015 弾き語り人権ライブ」を開催しました。

● 待ちに待った宇崎さんの弾き語りを聴きながら、歌は人の心の叫びをこんなにも表せるものかと、強い感動を覚えました。

戦争の悲しさ、貧しさゆえの労働歌など、一曲一曲の中に物語や真実がありました。



宇崎竜童 氏



「YO-SORO」という曲の中で、「ヨーソロ(用意はいいか)」、力強くみんなで「ヨーソロ(用意はいいぞ)」と返す。まさに大海原にみんなで立ち向かっていくという場面がありましたが、差別に立ち向かうのも、ある時は一人で、そしてある時は大波の中みんなで力を合わせて進んで行くということが大切ではないかと感じました。

いまだ残っている差別、沖縄のこと、戦争の悲惨さ、貧しさからの心の叫び、今回は本当に歌で考えさせられ、歌で感動し、歌で喜びを教えてくださいました。

帰る電車の時間いっぱいまで歌っていただいた宇崎竜童さん、ありがとうございました。あの感動はずっと忘れません。

本日の選曲に人権のメッセージが含まれていたように思えます。愛・優しさ・人間の素晴らしさを歌によって感じられました。

講演もいいですが、改めて歌がみんなの心の優しい扉を開けてくれることを感じました。

参加者の声

歌の中にあるように、貧富の差、戦争の愚かさ、敵にも味方にも愛する家族や人達がいることを忘れてはならない。戦争はしてはいけないと強く思います。世界中が平和でありますように。

同じ時代の船に乗っている周りの皆と助け合って、支え合って生きていきたい。

宇崎さんの弾き語り、大変素晴らしかったです。言葉の持つ「力」についてあらためてよく考える機会となりました。

たくさんのありがとう！

人権のつどいの前に、人権作品の表彰式が行われ、小学生から一般まで約100名の方々が表彰されました。

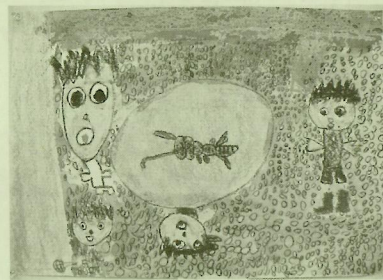
絵画では、体験したことを生き生きと描いており、そのときの楽しさや感動が伝わる作品が多くありました。ポスターでは、スマホの問題などいろいろなテーマを取り上げており、社会にも目を向けていることを感じました。短い手紙では、家族や友達への優しさ・感謝が感じられる作品が多くありました。

それぞれの作品から、素直な気持ちや前向きな気持ちが伝わってきて、ほのぼのとした気持ちになりました。

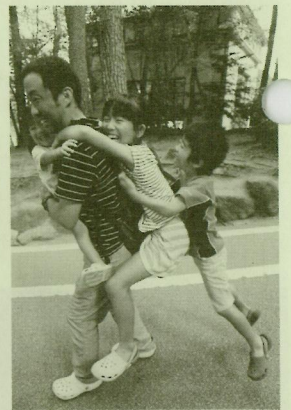
年度末に入賞者の作品を掲載した作品集が発行されます。心あたたまる作品ばかりです。お手元に届いた際には、ぜひともご覧下さい。

「ごめんなさいのありがとう」
この前お母さんに「気がきかない」と言われて、とても腹がたちました。私だつて疲れているのにそんな事言わなくてもいいじゃないか、そう思っていました。
それから数日後のある日、私はお母さんの行動を見ていました。お母さんは常に何かしてました。すわっている様子はほとんどありませんでした。なのに話しかけると笑っていました。
私は心の中で、「ごめんなさい」と言つて口で「ありがとう」と言いました。

短い手紙・中学生



絵画・低学年



写真・一般

鶴 鶴

ハートのツルツルいっぱい！

人権週間中の共同制作（人権協コーナー）として、メッセージを書いた折り鶴をハート型に貼り付けていく「ハートのツルツルいっぱい」を開催しました。

人権作品表彰式や人権のつどいの日を中心に、たくさんのツルが色とりどりに飾り付けられ、立派な共同作品に仕上がりました。

現在もなびあすの受付カウンターに展示してありますので、なびあすにお越しの際には、ぜひともご覧下さい。



制作の様子

〈人権コラム〉

「思いを馳せる」

先日、LGBTに関する講演を聞きました。昨年の町民人権講座で聞いた東小雪さんの講演の中でもあったように、最近の研究では5%以上の割合（20人に1人）でLGBTの方々がいるということでした。

みなさんの身近にLGBTの方はいらっしゃいますか？

きっと「会ったこともない」「身近にはいない」と言われる方がほとんどでしょう。けれど、大部分の方はLGBTであることを隠し、悩み苦しみながら生活しています。

「身近にはいない」と言い切ってしまったら何の配慮も生まれず、ただただ当事者を傷つけてしまうだけなのではないでしょうか。

「ひよつとしたらいるかもしれない」と思いを馳せれば、何気なく発する言葉一つでも配慮のある言葉にかわつてくると思います。

他の問題についてもそれは同じではないでしょうか。「いじめられている子はいない」と思ってしまったら、いじめに気がつきません。「困っている人はいない」と思ってしまったら、その人の悩みや苦しみに気がつきません。

「ひよつとしたら…」と、思いを馳せることで見えてくるものがあつたり、自分の言動を振り返つたりすることができるとは思いませんか。

※LGBT…性的少数者を限定的に指す言葉

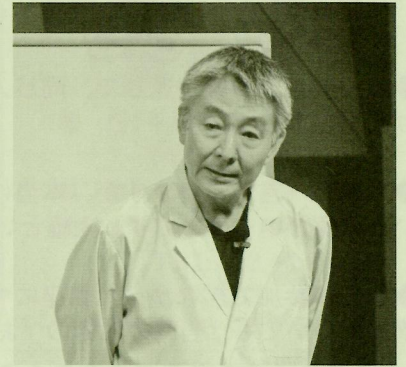
失敗は科学の母

子どもから大人まで大人気の「空想科学読本」の著者「柳田理科雄」(空想科学研究所・主任研究員)さんに来ていただき、子どもの儂い夢を破壊する?!目からウロコの理科話をたくさん聞かせていただきました。

★ウルトラマンはマッハ5で空を飛ぶが、東京で変身して美浜へ救助に来ようとしても3分では琵琶湖までしか来られない。★仮面ライダーは25mジャンプしてライダーキックをするが、跳んでから下りてくるまでに4.4秒かかるため、よほど動きの鈍い怪人以外は楽に逃げてしまう。★サザエさんのエンディングで一家が家に飛び込むスピードは時速130kmになる。…などなど夢の世界を現実と結びつけて壊してしまう話がたくさんありました。

そんな楽しい話の中に散りばめられていたのは、大人になればなるほど「なぜ?」「どうして?」という問いかけが薄れていっているのではないかとということでした。だれもが子どものときには持っていた“好奇心”や“失敗する勇氣”がいつの間にか薄れて、ものごとをなんとなくしか見ていない、しっかり見ようとしなくなっているのではないでしょうか。科学を人権に置き換えてみると、「ちがひ」や「本当の姿」を見ようと思わず、あるいはそれに気づかないために人を傷つけてしまっていることがないでしょうか。

柳田さんのメッセージの中に「失敗する勇氣 成功につなぐ根気」「自分が変われば世界が変わる」等があります。科学だけでなく人権にも通ずるところがある気がします。



第5回町民人権講座(10/22)
柳田理科雄さん

子どもを大切にしていける。子どものハテナを大切にしていける。一人ひとりの子を大切にしていけることが、子どもたちの能力を伸ばしていけるのかなと思った。

同じものを見ていても、その人の気持ちの持ちようで見え方が変わるのでね。

カミングインという生き方



第6回町民人権講座(11/17)
吉井奈々さん

今年度最終の人権講座は、コミュニケーション講師の吉井奈々さんをお迎えし、「自分らしく生きる」をテーマに講演会を行いました。

元男性でありながら、女性としての幸せを手に入れられた吉井さんの言葉の中には、“カミングイン”という単語が多く使われていました。“カミングアウト”という言葉には、自分という人間をまわりに押しつけるようなニュアンスが含まれてしまいます。対して、“カミングイン”という言葉には、相手との間にきちんとした信頼関係を築いた上で、コミュニケーションがしっかりととれている状態を表す意味があるそうです。

“カミングイン”の状態を作り出すためには、まず自分を認めてあげること。そして何よりも、現状に幸せを見つけ、今を存分に楽しむことが大事であると教えていただきました。

自分らしさは、自分を受け入れることから始まる。過去を否定せず、一つだけでなくもたくさんの自分らしさを見つけられればいい。そうおっしゃる吉井さんの言葉に気付かされることの多い、素晴らしい講演となりました。

吉井さんのお話を聞かせて頂き、会社での人間関係で苦しんでいたことが、少し楽になった気がします。

私もいくつもコンプレックスをもっていますが、与えて頂いた人生なのだから、私も私自身を「承認」していきたいと思えました。

ジェンダーだけでなく、人として生きていくための大事なことが「承認」ということでした。いろんなことに出会い、受けとめていくこと、出来そうで出来ていないと痛感しました。

自分に○をつける。相手に○をつけられる。溶け込むという生き方が幸せを引きよせることに気づかせていただきました。

こえ 声 こえ

「ふれあい」第57号をお読みになった読者の方より、おたよりが寄せられましたので紹介します。

◆毎日同じ事の繰り返しで、同じ人としか会話がないと視野が狭くなりがちです。気づくということを感じてきました。(Mさん)

◆人権と一言で言いますが、本当に小さな一つの言葉から世界中の人々に影響する事柄まで、私たちの周りに人権という事柄がいっぱいです。人権という言葉の大きさに今改めて驚いています。(Kさん)

◆自分が参加できなかった講座についても内容やその会場での様子の概略を知ることができます。また、聴講できた講座についても、当時の内容の「おさらい」となり、再度人権についての考えを深めることができます。(Tさん)

1	5	8		13		20
2				14	17	
		9	12			
3	6			18	21	
	7	10		15		
4				16	19	
		11				

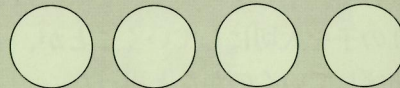
■応募方法■

- 答え・住所・氏名を別紙とじこみ用紙に書いて下記までお送り下さい。
〒919-1141 美浜町郷市29-3 美浜町生涯学習センターなびあす内 人権協事務局
- 〆切は、平成28年4月28日(木)です。
- 正解者の中から抽選で5名の方に、図書カードをお送りします。
- なお、前号の「人権クロスワード」の正解は、「へいわ」でした。当選者は次の皆様でした。おめでとうございます。

沢田ツルエさん (竹 波) 河村那智子さん (久々子)
 馬野 文夫さん (佐 野) 平岡順之祐さん (佐 田)
 二反田松平さん (佐 田)

人権クロスワードパズル

二重わくの中の文字を使ってできる言葉が答えです。



ヨコのカギ

- 1: 生産者から仕入れて、小売業者に売ること。
- 2: 英語で言うとドクターのこと。
- 3: 長〇〇、車〇〇、パイプ〇〇。
- 4: 英語で言うとドクターのこと。
(ヨコ2とは別の言葉が入ります)
- 7: 乾燥する季節にはコレが役に立ちます。
- 9: 今年度の人権協コーナー「ハートの〇〇〇〇いっぱい」。
- 11: 人権のつどい2015に来て頂いた「宇崎〇〇〇〇〇」さん。
- 14: 髪や贈答品の装飾に使われるヒモ状の織物のこと。
- 16: 水を電気分解するとできる気体の一つです。
- 18: 人に知られない善行にも、必ずよい報いがあること。
「隠れての信は、顕(あらわ)れての〇〇」

タテのカギ

- 1: 神社などで幣(ぬさ)を用いて行われます。
- 4: 第6回人権講座、吉井奈々さんの言葉「カミング〇〇」。
- 5: 八にフタをするとできる数字です。
- 6: 紙幣にも使われている偽造防止の技術。
- 8: 脂肪酸、中性脂肪、コレステロールなどのこと。
- 10: 寿司屋でいうご飯のこと。
- 12: フィギュアスケートのジャンプの一つ。
- 13: 1月末に発表された日本銀行の政策により、民間銀行が日本銀行に預けたお金に対するコレがマイナスになります。
- 15: 2で割ると1余る数字です。
- 17: 直径の比較的大きなネジのこと。ナットとセットで物の固定などに使います。
- 19: 美浜町は35°の位置にあります。
- 20: 「タテ5」の数字を足すと九になります。
- 21: 第5回人権講座、柳田理科雄さんは〇〇〇〇科学研究所に所属されています。

編集後記

人権協が平成8年10月5日にスタートし、平成28年10月5日で20年を迎えます。「じんけんてなあに？」から始まった人権協もやっと大人の仲間入りです。

広報ふれあいが58号、町民講座117回、人権のつどい、人権啓発活動、人権協コーナー、人権作品の公募、冊子の発行、意識調査、集落での学習会、本当にたくさんの人々が、人権について、聞いて、悩み、考え、話し合い取り組んできたことが、少しは形になってきたのだと思います。

自分自身が、人権協で学びの場所を提供してもらい考えさせられることが、たくさんありました。

差別問題を理屈で訴えるのではなく、人権講座、啓発冊子等を通じて伝えてきました。差別問題を一人ひとりが他人事でなく自分の事として受け止めてください。そうすることで、お互いのことが見えてきます。私は、人権協との縁を大事に今後も学んでいきます。人権協の各部会でも、20年を節目に色々と工夫を凝らしながら進んでいくと思います。

今後も人権協にご協力をお願いします。(三)